

# こども環境学会2016年大会（富山） 2016年4月22日（金）～24日（日）

## 報告書（概要）

**大会テーマ：「こどもと地域力」**

**日程：**平成28年4月22日（金）～24日（日）

**会場：**富山大学五福キャンパス共通教育棟他  
（富山市五福3190）

**主催：**公益社団法人こども環境学会

**後援：**富山県、富山県教育委員会、富山市、富山市教育委員会、富山大学、公益財団法人富山県体育協会、公益財団法人富山市体育協会、富山子ども劇場、NPO法人富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊内閣府、国土交通省、文部科学省、厚生労働省、環境省、日本学術会議、公益財団法人日本ユニセフ協会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本都市計画学会、公益社団法人日本造園学会、日本環境教育学会、一般社団法人日本発達心理学会、一般社団法人日本保育学会、一般社団法人日本体育学会、日本子ども社会学会、人間・環境学会、日本安全教育学会、日本感性工学会、公益社団法人日本小児保健協会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本公園緑地協会、一般財団法人公園財団、一般社団法人日本造園建設業協会、公益財団法人都市緑化機構、IPA日本支部、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、聖徳大学（順不同）

### 参加費等：

会員（学生除く）：5,000円

学生（会員一般共）：3,000円

会員外（北陸4県以外）：6,000円

※当日参加は各々500円増し

北陸4県：シンポジウム、基調講演、ワークショップ無料

こども（高校生以下）・障がい者：無料

### 大会参加者数：332名

会員137名、会員外22名、北陸4県参加者（富山、石川、福井、新潟）121名、招待11名、報道4名、学生スタッフ19名、講師18名（会員除く）

懇親会参加者99名

エクスカーション参加者31名

### プログラム

#### 【4月22日（金）】

#### エクスカーション

Aコース：子どもイタズラ村、和紙文庫

Bコース：太閤山ランド&こどもみらい館、新湊漁港（昼食）、環水公園

## 【4月23日（土）】

### 開会式・挨拶など

#### 基調講演

「こどもと地域力」

神川康子（富山大学理事）、高橋 勝（帝京大学大学院教職研究科教授）大西宏治（富山大学人文学部准教授）

#### シンポジウム

「子どもの挑戦力を引き出すには」

増田準三（NPO 法人立山自然保護ネットワーク副理事長）、星野正義（富山大学教職特任教授）、吉田 渉（一般社団法人富山県民謡越中八尾おわら保存会保存会教育研究部長）、橘 賢美（一般社団法人富山県民謡越中八尾おわら保存会渉外部長）、福岡孝純（日本女子体育大学招聘教授）、山口 和子（男女共同参画社会基本法ネットワーク in 富山 35・世話人）、富樫 豊（北陸こども環境研究会代表）

#### 子どもイベント

「こどものおわら演舞」富山市立八尾小学校

6年生11名教師1名

#### ポスターセッション

#### 東日本大震災復興支援活動報告

福島県包括協定にもとづく支援事業の報告

小澤紀美子（東京学芸大学名誉教授）、神谷明宏（聖徳大学准教授）、新田新一郎（プランニング開代表・アトリエ自遊楽校主宰）

#### 会員総会／懇親会

## 【4月24日（日）】

### ポスターセッション

#### 分科会

分科会A：アナログな遊びの可能性

～アナログな遊びの『身体性』の意味を再考する～

中川香子（聖和短期大学教授）、寺西康雄（富山大学人間発達学部客員教授）、早川隆志（NPO 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊）

分科会B：食による伝承

～こどもをめぐる食と伝承の探求～

河上めぐみ（（有）土遊野代表取締役）、

大門洋美（社会福祉法人ジェイエイ氷見みどり会みどり保育園園長）、宮島則子（食育アドバイザー）、塚田由佳里（大阪市立大学大学院生活科学研究科客員研究員）

分科会C：子ども・若者参画の居場所づくり

福澤瑠璃（富山大学人間発達科学部4年）、伊藤一美（NPO 法人子ども&まちネット理事長）、白川陽一（名古屋市青少年交流プラザ（ユースクエア）職員）、大西宏治、高橋勝

分科会D：こどもの表現力

ー こどもの表現力は環境とどう関係するか

浅井俊一（新潟市子ども創造センター館長）、隅敦（富山大学人間発達科学部教授）、青山仁（富山短期大学附属みどり野幼稚園園長）、木村健（金沢21世紀美術館エデュケーター）三輪律江（横浜市立大学国際都市学系まちづくりコース准教授）新田新一郎、仙田満（環境建築家）

#### ワークショップ

「回す 飛ばす 操る 駆ける」

皿回し喜楽塾、富山子ども劇場、富山大学大道芸クラブ、星槎国際高校わくわく福祉ゼミ、加藤孝明（日本けん玉協会富山支部）、NPO法人 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊

**こども環境学会賞受賞者表彰式及び記念講演  
総括セッション／閉会式**

**【事業の成果について】**

大会テーマは、「こどもと地域力」と設定し、こどもが育つ地域社会のあり方と、こどもが地域社会に参画していくあり方を検討しました。基調講演やシンポジウム、そして4つの分科会を通して、有意義な議論ができたものと思います。富山や北陸という地方からの視点でこどもの環境を考える機会をみなさまに提供できたと思います。

地方にはそれぞれの社会的な文脈で培われた文化があり、それに立脚しながらこどもの育つ環境が構築されたことがご理解いただけたのではないかと思います。特にシンポジウムで取り上げたのは「立山登山」や「14歳の挑戦」、「八尾おわら」など、地域固有の取り組みでした。かつての地域が担ってきたこどもの成長を支える仕組みの重要性に気づくことができました。またグローバル化する社会における、ローカルな取り組みの意味も考えることができました。

また、ポスター発表ではさまざまな議論を深めることができました。こどもに関する多種多様な研究や活動をする人々が交流できる良い場になっていたと思います。

本大会での議論を踏まえて、以下の通り提言いたします。

**■こども環境学会 2016 年大会（富山）「こどもと地域力」・提言**

**1 こどもが地域で育つことを意識しよう**

こどもは、自然環境、社会環境など、自分を取り巻く様々なものに影響されます。こどもは自分の暮らす地域に触れ、様々なことを吸収して成長します。こどもの育つ、そして子育てをする環境として、地域を見つめなおすまなざしが必要ではないでしょうか。こどもが健やかに育つ地域はどのようなものであるのか、そして地域はこどもの育ちの場であることを大人は意識しましょう。

**2 地域が育んできた文化に触れる機会をつくろう**

こどもたちが暮らす地域には伝統文化から最近生まれた取り組みまで、様々な文化的なことがあります。それらは地域の中で生まれ、現在まで継承されてきました。こどもがそれらに触れ、意識する機会をつくっていきましょう。文化は伝統文化だけを指すのではありません。何気ない食文化から遊びまで日常生活の中にもあります。それらに触れる機会を持つことで、社会での自分の役割を考えることにもつながります。地域の育んできた文化に触れる機会をつくりましょう。

**3 こどもたちが自己を解き放てる居場所を地域につくりだそう**

こどもたちは、大人や社会に受け入れられた経験を積み重ねながら自立していきます。受け入れられる「場」が地域にあることが大切です。「場」は施設などのハードだけを指すのではなく、大人との交流やこどもどうしが集える仕組みなども指します。また、そこで各々が自由に自己表現をできることが、こどもと若者の自立をサポートします。そのような居場所をつくりだす地域づくりを進めましょう。

こども環境学会2016年大会決算			
[収入の部]			2016年6月15日
項目	予 算 額	決算額	概 要 内 訳
参加費	1,020,000	789,000	一般会員 事前申し込み88名×5000円 一般会員 当日参加32名×5500円 一般非会員 事前申し込み11名×6000円 一般非会員 当日参加5名×6500円 学生 事前申し込み12名×3000円 学生 当日参加11名×3500円
エクスカージョン参加費	125,000	135,000	27名×5000円
補助金	580,000	441,000	富山県140000円、富山市250000円、 コンベンションビューロー51000円
展示・広告収入	450,000	1,200,000	展示60000円、広告1140000円
その他の協賛金	400,000	116,834	広告なし協賛100000円、出店協賛9834円、 資料協賛7000円
懇親会費	650,000	502,000	事前参加74名×5000円、当日参加24名×5500円
その他	50,000	1,500	一時保育3時間×500円
一般会計より繰入		788	
合 計	3,275,000	3,186,122	
[支出の部] (単位:千円)			
項目	予 算 額		概 要 内 訳
会場費	330,000	124220	会場使用料(警備代含む)124220円
エクスカージョン	150,000	114093	貸切バス30000円、ジャンボタクシー11070円、 訪問先手土産1298円、駐車場660円 WS材料費・消耗品58928円 エクスカージョン講師謝礼金11137円、交通費1000円
懇親会	650,000	502500	懇親会飲食費390,000円、懇親会人件費112,500円
講師謝金	200,000	135,000	25000円×1名、10000円×11名
おわらの経費	50,000	70000	越中おわら保存会70000円
旅費	50,000	241089	講師127969円、実行委員会議旅費113120円
印刷製本代	1,200,000	1213734	大会プログラム1213734円
広報活動費	150,000	170550	チラシ14760円、消耗品(インク・紙)155790円
事務局費	100,000	111580	本部事務局交通費111580円
託児費	30,000	39000	託児費39000円
学生アルバイト	360,000	408,600	学生アルバイト161100円、事務局人件費247500円
その他	5,000	55756	ボランティア昼食4099円、保険14538円 振込手数料14904円、郵送料22215円
合 計	3,275,000	3,186,122	
収入-支出	0	0	